

テレワークは従業員の健康配慮を

厚生労働省が調査、警告

近年、コロナ禍の影響などで、職場と違う家庭などの場所で仕事をする「テレワーク」を採用する企業が増加しています。テレワークの健康課題に関する調査で、導入している全国の上場企業のうち、従業員に運動不足解消を促す取り組みについて「特になし」との回答が62%に上ったことが、厚労省研究班の調査・まとめで分か



りました。

テレワークの具体的な体や心への影響では、運動不足のほかコミュニケーション低下などが挙げられています。

研究班では「健康に配慮しながらテレワークを定着させていくことが大切」だとし、また「座る時間が長くなり過ぎないように、定期的に立ち上がるなどの工夫をすることも効果的だ」と忠告しています。

本調査は本年2・3月に実施し、684社から回答を得たものです。テレワーク導入率は70%で、頻度は週2〜3回が40%と最も多く、週1回の18%が続いていました。

テレワークの活用に伴う従業員の健康課題（複数回答）は、コミュニケーション低下49%、運動不足45%、体重増加23%、腰痛22%の順でした。長時間労働対策などの労務管理は進んでいた一方、安全衛生や健康確保に関する教育を実施しているのは21%にとどまっており、課題として挙げられています。

（資料・引用「日経」23・09・02）

令和6年 年間標語

決まる

令和5年度 年末年始無災害運動標語

災害ゼロ 事故ゼロ



中央労働災害防止協会が「令和6年 年間標語」と「令和5年度 年末年始無災害運動標語」の2種類の安全衛生標語を公募した結果、それぞれ8千008作品、1千304作品が寄せられました。厳正な審査の結果、次のとおり入賞作品が決まりました。

(作者の敬称略)

令和6(2024)年 年間標語

《入選》

・小さなヒヤリも 大事な気づき 声に出して災害ゼロ
(大分キャンシマテリアル株式会社 森竹祐美)

《佳作》

・不安に思えば聞いてみよう 小さな勇気で無災害
(メキシケムジャパン株式会社三原製造所 磯部正人)

・あなたです 事故を起こすも防ぐのも みんなの力で無災害
(日本信託警備株式会社統括本部 鈴木照夫)

・健康と安全保ち 心をひとつに 無災害
(太田みゆき)

令和5(2023)年度 年末年始無災害運動標語

《入選》

・健康と安全で 幸せつなぐ 年末年始
(JNCファイバース株式会社守山工場 田上維織)

《佳作》

・師走こそ焦らず 走らず 転ばずに 笑顔で過ごす 年末年始
(キッコーマン食品株式会社高砂工場 南中三紀)

・みんなで協力安全作業 無事故で安心 年末年始
(宮下正司)

・一年をしめるはしめる 事故ゼロで
(平松泰輔)

受動喫煙を避けていても6%の被害

— 国の目標「望まない受動喫煙のない社会の実現」 —



職場で喫煙者の煙を吸わない対策?!

発がん性物質を含むたばこの煙を避けて暮らしている人でも、その6%は煙にさらされる受動喫煙の被害に毎日遭っている。

そんな研究結果を大阪国際がんセンターの医師と大阪大学医学研究院生とが日本衛生学会英文誌に発表しています。

この調査・研究は2022年2月、インターネット上で16〜74歳の人を対象に約2万6千人の回答を分析したものです。

たばこの煙を避けて暮らしている人で受動喫煙の被害に毎日遭っている割合は6%、月1回以上遭っている割合は21%でした。16〜19歳は毎日遭うリスクが60〜74歳の5倍高くなりました。

被害に毎日遭う場所としては家が最も多く、職場、パチンコ店が続いていました。月1回以上遭う場所では職場、パチンコ店、飲食店の順に多くなっていました。

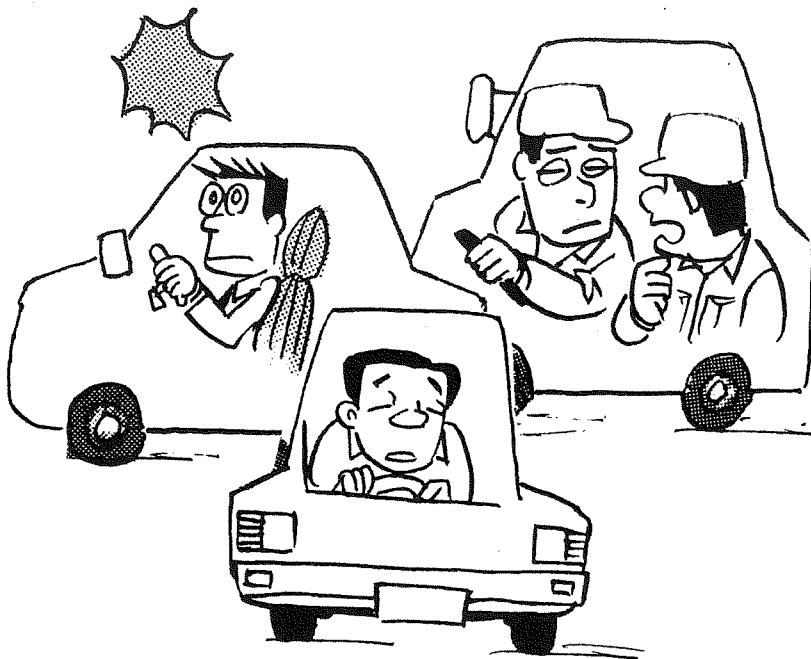
政府は「健康日本21」第2次計画で、22年に月1回以上被害に遭う割合を医療機関や行政機関、職場で0%、飲食店で15%、毎日遭う割合を家庭で3%とする目標を設定していましたがどの場所についても達成できていません。

政府の24年度からの第3次計画の目標は「望まない受動喫煙のない社会の実現」ですが、厚生労働省の担当者は「どこでも0%という意味だ」と説明しています。

(資料・引用「東京」23・09・13ほか)

交通事故等の死亡率を上げる疾病

— 心・脳血管疾患、糖尿病、アルコール依存症 —



高齢者は若年者に比べて交通事故や労災事故の際の死亡率が高いと言われていますが、高齢者はさまざまな疾病に罹患していることが影響しているとする研究が発表されています。

オーストラリアで行われた研究によると、交通事故などで救急病院に搬送された中等症以上の外傷患者の医療データ6253人について、

併存する疾患が死亡率に及ぼす影響について検討しました。

乗用車乗員の中で最も多くみられた疾患は心・脳血管疾患(26・5%)で、糖尿病が7・3%、アルコール依存症が6・3%、慢性閉塞性肺疾患と睡眠障害がそれぞれ2・2%ずつでした。

患者の年齢や事故時の行動(乗用車乗員か歩行者か、など)といった背景因子を調整した上で、これらの疾患が死亡率に及ぼす影響を計算したところ、心・脳血管疾患があると1・6倍、糖尿病があると1・7倍死亡しやすことが分かりました。

外傷の治療中にさまざまな合併症が生じること、これらの疾患により外傷が治癒しにくいことなどが挙げられています。従って、高齢であるというより、このような疾患の影響によって交通事故などによる死亡率が上がるのが分かったといえます。

高齢者に限らず、何らかの疾患に罹患している人はまず治療が肝要です。

(資料・引用「人と車」全日本交通安全協会 23・7)

海外の事故・災害から

…2023年8月…

- ▼インド ムンバイ近郊 高速道路の建設現場で移動式大型クレーンが倒壊、地上にいた作業員らが下敷き。死者20人、負傷3人。
- ▼メキシコ テビク近郊 バスがスピード超過で谷底に転落。死者不明18人、負傷23人。
- ▼ミャンマー ラカイン州沿岸 イスラム系少数民族ロヒンギャ50人以上が乗った小型船が大波にさらわれ沈没。23人が遺体で見され、不明者多数。
- ▼パキスタン シンド州 千人以上が乗車の急行旅客列車が脱線。死者34人、負傷90人以上。
- ▼スウェーデン東部 線路の盛土が豪雨で流され旅客列車が脱線。負傷3人。
- ▼アメリカ ハワイ 山火事がハリケーンによる突風で延焼、観光地ラハイナが壊滅的被害。死者128人、負傷者多数。
- ▼イタリア ロンバルディア州 約2万5千個のチーズが保管されていた保管庫で棚のひとつが壊れ、ドミノ倒しで大量のチーズホイールが落下。70代男性が下敷きで圧死。
- ▼ロシア南部ダゲスタン共和国 マハチカラ自動車整備場が火元で近くのガソリンスタンドが爆発し、6百mに延焼。死者35人、負傷100人以上。
- ▼インド ミゾラム州 山岳地帯に建設中の橋が崩落し、作業員26人が死亡。
- ▼アメリカ ペンシルベニア州 住宅街で突然家が爆発し、12人が負傷。近くにある天然ガスや石油を採掘する井戸からのパイプラインが走っており、付近で家が突然爆発する事故が過去15年で3回目。
- ▼マダガスカル アンタナナリボ 総合競技大会の開会式で競技場入り口に群衆が殺到し雑踏事故。死者13人、負傷107人。
- ▼ルーマニア クレベディア LPガス給油所で爆発。タンクローリーと民家に燃え広がる。死者1人、負傷57人。
- ▼ベトナム クアンニン省 炭鉱の崩落事故が発生。死者4人。
- ▼インド タミルナド州 停車中の列車の客車で火災が発生。乗客がお茶を入れようとして、違法に持ち込んだガスボンベを使用した際に爆発。死者9人、負傷20人。
- ▼中国 湖南省 高層マンションでエレベーターが突然落下し、中に乗っていた住人3人がケガ、うち1人が重傷。
- ▼アメリカ ニューヨーク タイムズスクエアで水道管が破裂し、地下鉄の線路が浸水。一部路線が一時運行停止で30万人に影響。
- ▼イタリア トリノ 線路の保守点検をしていた作業員5人が走行してきた貨物列車にひかれ死亡。他に2人が負傷。

(資料・引用)災害情報 早稲田大学理工学術院総合研究所編集発行、ほか